昭和九年九月二十四日（月曜日）　THE KEIJO NIPPO　第七千四百八十一號　（第三種郵便物認可）

京城日報　夕刊　九月二十三日（日）

優渥なる聖旨を傳へ 水害地を實視す
咸興に於ける甘露寺侍從

【咸興特電】秋漸く深く、さはやかなるべき北鮮の空は水災の名ごりを思はする、甘露寺侍從は二十三日午前九時卅分、咸南道廳に着し中野知事に對し優渥なる聖旨ならびに水災罹災民に對する救恤金御下賜の恩命を傳達し、御差遣の趣旨にて水害状況を聽取し參與官、各部長各課長、郡守、署長、消防組頭、各面長等水害功勞者に接見して道廳會議室にて一般状況を聽取した後、道廳構內および城川江堤防の一部を視察して一旦旅館に入り晝食後午後一時自動車をつらねて內湖までの沿道を視察し午後五時旅館松月に歸還、中野知事は聖旨拜受後直に宮內大臣あて「今回咸鏡南道の水害視察の爲天皇、皇后陛下より特に甘露寺侍從を御差遣遊ばされ優渥なる御沙汰を拜し、なほ御救恤金を御下賜相成り恐懼感激の至りに堪へず、こゝに謹みて御禮申し上ぐ、右謹んで執奏を乞ふ」旨電報した

形式を避けて 實際的解決をはかる
濟南事件の豫備交渉開始
と見らる岡本領事と周龍光氏の會見

【南京二十二日發電】國民政府外交部常務次長周龍光氏は二十一日朝岡本領事を訪ひ濟南事件の解決に關し數時間にわたつて懇談を遂げた、聞く處によると岡本領事は日本政府が矢田總領事に與へた訓令の內容を再度説明し、若し支那側にして解決の決意を示せば日本側は全般的に多少の讓歩を辭せない旨附言したのに對し、周龍光氏はこの際同事件を一日も早く解決したい希望と誠意を有することを力説し支那側の同事件に對する解決方針の大體を説明したとのことである、今回の交渉は日支兩國とも形式的を避け極めて實際的に解決交渉の進行を計らんとする方針から王正廷氏、矢田總領事の正式會見前に大體岡本領事周龍光氏間に諒解を遂げんとするものであるらしい　從つて二十一日の會見によつて濟南事件豫備交渉は開始せられたと見られる

穩健なれば妥協を認める
"國民政府と東三省問題" わが政府の意向

【東京電話】國民政府と東三省との妥協はすでに成立したことは事實らしく、帝國政府で的確にその內容を知ることを得ないが問題は東三省がどの程度まで國民政府に從屬するかといふことであるが、わが政府では、國民政府が

極端 なる左傾的政府とならず五院制度を確立することによつて穩健中正なる政體を確立するものと解してゐるから、帝國政府等において國民政府が傍若無人な態度を改めるにおいてはこれを以て南北妥協を是認せんとする意向である、從つて濟南事件も未解決となり寧案交渉も進展せず排日貨も止まざるが如き事態が

繼續 する場合には、國民政府を以て東三省と妥協するに足る政權にあらずと認め妥協の結果を東三省に實現せしめざるやう努力すべく、ゆえに若し東三省が南方の指し圖に從ひ現在の南方と同一の指し金に出づるが如きことあれば日支間に由々しき事態を招來するに至るかも知れない

兩廣派の軋轢愈よ募る
李濟琛氏に許崇智氏を擬らしめん廣東派の意向

【廣東廿二日發電】李濟琛氏を首班とする廣西派が廣東政治分會を無視して廣東、廣西、貴州の四省に君臨し全廣東派の頭をおさへてゐるのに對し不滿に堪へざる廣東派は、從來其の勢力を振ひ最近は貴州と雲南の抗爭を利用して貴州に勢力を扶植せんとするにいたつたので、與論を顧慮する廣東派は遂に默し難くひそかに李濟琛を倒し許崇智を推さんとする裏面策動を開始し臨時會議を招集する計畫を更に進めつゝあるが、一的活動を開始し斷然廣西派の勢力を辭退せんとし、すでに南京では其の意を諒した胡漢民氏が李濟琛氏を中央に留まらしめ許崇智を廣東に派して第八路總指揮部の撤廢または改組を行はしめんとするものであるといはれてゐる

監察院長 林氏の推擧
承諾するか否か 拒絶にあへば問題

【南京廿二日發電】二十一日の國民黨會議で五院々長の顏觸れは既報の如く內定したが、監察院長に林森氏を推擧した理由は第三次全國代表大會を前に控へ各派要人の大團結を行ひ來るべき大會をして健全かつ確實のものとなし黨外的信用を高むるためこの際**西山派**會議を復活せしむるにしかずとする議論勝をしめたゝめで、開會中の林森氏に對し同意を求むる電報が直に發せられた、若し林氏が就任を拒絶せば五院々長の顏觸れは更に變更を來すべく到底今月內には發表出來まいといはる、なほ右會議の結果玉澤(?)等陳公博氏等左傾分子の暗中飛躍を徹底的に取締ることになつたと

日佛競技……
お祭騷ぎの大連
漱石の「鳴動」から
大連にて　立石特派員

船の揺みを押しながら、船中で世話になつた通信のボーイに船で聞いたのを、私は短艇にゴロッと轉がつて、なほも考へてみた。私は醉ても醒ても一、二艇の差にしかすぎないだらう。そうして、ホームグラウンドといふ幾分の有利、或はその差はわれに有するのではないかとかいておいた。しかしながら、この大きな國際競技に參加する選手が、よしやその一部は世界オリムピックの決勝を受けたとはいふものゝ、『よくこそ來たフランス選手の歡迎』と現實に對立した時に、そして、同じスタートラインに立ち、同じサークルに這入つた時に、心に受ける何らの打撃もふるひもなく、平素のおのれの實力を惜みなく發揮しうるわが選手が幾人あるだらうかと懸念して、毅然として私は頭を振いた。

◇

頭を抱いた私を埠頭に汽車は大連においてくれたが、大連に降り立つてみると、そんな懸念もいつのまにか忘れてゐた。時も日佛競技の歡迎ぶりにやかましきが最である。

路をゆく小學生は『ようこそく フランス選手』と與謝野寛氏の作るところの佛蘭選手歡迎の歌を口ずさんでゐるし、街頭はそのポスターがくまなくはられてゐる。二人ある廣告ず、街頭の豫想に賭を賭してゐる。短きスカートの若き乙女は、パラソルに秋陽を遮げて誇り、セーラーパンツと白髮の老人とは、白衣に捉りて話し込んでゐる。シート指定席はすでに賣切れ、二三等席も余すところ僅にわづかである。現場では、もう切符は賣れぬだらうとも聞けば、競技場への人々の殺到は全部この競技にへの人々に豫約されてしまつてゐるとも聞く。

郵便局は記念スタンプを採用し、放送局は中繼放送を準備してゐる。大連全市はイルミネーションで『歡迎』の二字をかたつげ、晝の競技と化し、アスファルトを疾走する自動車はヘッドライトの上に大ポスターをはりつけてゐる。アーチは勿論、各商店一齊に歡迎飾付をくらます趣である。そして當日は全部晝午後の競技は歡迎ぶりだといふし、各戸には國旗をかゝげるのだといふ。聞けば私は振いてゐた頭から手をふりすてゝ、唱んだ。一體これはフランス選手歡迎のためか、われらすでに勝てりとのプレリュードなのか。

◇

廿一日早朝、私は競家町の應援の姿『歡迎とこうく』で、大連を汽車をとばした。漱石は出征そについていたとき汚らしい支那のダリーの群衆を見下しながら、その日々に呼びあわてるさまを深く感じて

事はロシア人が、日露戰爭の時穴をほつて土の中に埋めて行つたのを苦力が土の鬼で掘り出し、一つほつては喝采させ、二つほつては喝采させ、とうく大連を溶櫻十分に喝采させるまでにほりつくしたといふ話のあるー話だから本當の事は知らないが、この戰爭があらゆる競技のうちで最も效果なものと、誰しも認めざるを得ない程の泥だらけの競技である。と、大連の野球をひどく見くびつたものであるが然し私は大連以外では余り上等でない野球をみる事はみたもの々、大連の野球は、今はそんなに弱くはない。何も私がのつたからといつてほめるわけではないが、そしていさゝか違しは腹頭したが、とに角、私は大連で見物する何よりも先に野球をかつて『歡喜』にかけつけたのである（つゞく）

最初の陪審公判
本田少將令孃殺し事件 來月廿日東京で

【東京電報】今秋十月一日から實施される我國陪審法の施行は各方面から多大の期待を以て迎へられてゐるが、東京地方裁判所では多分十月中頃から陪審裁判を行ふ豫定になつてゐたところ、たまくこの陪審法施行と同時に公判に附されたあの本田少將令孃殺し犯人杉山滋が十月廿日東京地方裁判所で公判に附される事となつたためこの公判が全國に魁して陪審公判となる模樣である

宗昌氏は下野と決す
高壓的に出た妥協會議

【天津廿二日發電】張學良氏は張宗昌および褚玉璞氏を昨夕瀋陽に招致し楊宇霆、張宗昌氏等と會見數時間にわたり妥協會議を開いた結果、張宗昌氏は多年生死を共にした直魯軍の一部を手もとに止め殘りを解散しようとしたが、張氏は私情を離れ四國の命令は到底これを許されない、若し飽くまで實力の保持を主張すれば徹底的に叩き潰しをなす外なしと嚇怒するに至り、會議の空氣は險惡を示したが結局孫傳芳氏の斡旋にて宗昌氏は兎も角下野し直魯軍は楊宇霆に移すことに決定した

日支交渉 文書の點檢
を南京政府急ぐ

【北京廿二日發電】最近南京政府より舊外交部の書類を保管する北平外交部文書庫記録につき頻に照會して來たり辦事處は多忙を極めてゐる、右は南京政府が從來の外交關係を顧んずる必要あるをさとり日支條約交渉記錄その他を點檢しようとするためと見らる

山東派遣軍
更に七千名を引き揚ぐ
支那の情勢と政策的見地から
大演習前に斷行か

【東京電報】山東派遣軍は數次の整理減員の結果現在は名古屋第三師團を基幹とする兵員約一萬二千名となつてゐるが、陸軍では支那の形勢殊に山東省の情勢が平穩となつたのとわが國の對內政策的見地から現在の派遣軍に大整理を行ふことに決定した、十月下旬にいたれば山東省は寒氣酷だしく多營設備を要するので宿營設備および被服等の關係上よりも整理を急ぐこととなり、時機を得した、豫備兵の約六千名および教育の關係で留守隊に歸る現役兵約一千名計七千名を內地に引あげしめ、豫備兵は直に復員せしめるはずである。なほ濟南、青島および膠濟鐵道沿線一帶の警備は約五千名の將卒を以て當らしめる方針である、右整理計畫は特別大演習前に斷行することになつてゐる

守備は五千名
三師團は平時編成

【東京電報】しかして右第三次整理により內地に歸還すべき部隊ならびに殘留して濟南、青島等膠濟鐵道沿線の守備に任ずべき部隊については左の如く計畫されてゐる

一、歸還部隊　第一年次豫備役約三千名、第二年次豫備役約三千名、各部隊現役部隊約一千名

二、殘留部隊　現役部隊の大部約三千四百名、本年六月を以つて除隊期間に達し在營延期となつて居る歩兵補充兵約千六百名合計約五千名、即ち第三次整理後に於ける濟南の警備は約五千名を以つて行ふことになる、尚右の實施に依り野戰第三師團は平時編成に復するに依り從來の留守師團司令部は廢止され留守隊司令部を設けられる

村松龜一郎氏

【仙臺電報】元代議士宮城縣民政黨支部長村松龜一郎氏は二十二日死去した、享年七十七歲。氏は二十二回總選擧に當選すること前後十二回仙臺政界の重鎭である

……會……

朝鮮菊花同好會創立總會　二十二日午後七時より朝鮮神宮境內南山亭に開催、集るもの二十餘名、明治節を機とし朝鮮神宮に菊花奉獻、其他を附議し十一時散會した

……人……

◇長井博士　入城中の東大名譽教授藥學博士、理學博士長井長義氏（昨夕刊に長井長ありしは誤植）は二十三日午前十時十分發列車で多數に見送られて退城した

現金廉賣　冬物品揃　メリヤス、タオル其他綿製加工品諸雜貨　卸問屋　瀨戶勝本店　京城南大門通一　電話（光）五九五番

妖鬼流血錄 【27】
長谷川伸作　木村哲二　伊藤幾久造畫

江戸に根を据えた惡鬼（6）

上州高崎、松平右京亮……八千石、と考へると、咄嗟に志津摩の眼底に浮んだのは、遠藤造酒が脇坂家から機硯を拜領する、時節に敗れて拜領しそくなつたのが、松平右京亮だといふ、桑原權八郎から聞いた話だ。だが、拙者は右京亮については、もつと多くの知識を有つてゐられるはずだ。即ち愛宕おせんの方に、隅田川邊りの下屋敷で見知にされそくなつたといふ器量のよくない話。

『申し遲れて相濟み申さぬ。拙者……』といひかけた志津摩。

『姓名は申上げかねる。だが、拙者の居合を食ひ止められた貴殿の武道のお心得にはほとく感服仕つた……。また重ねくのお心入れまことに屆なく存ずるが、

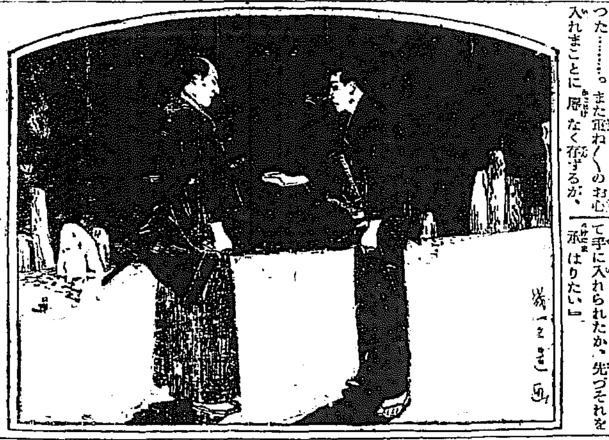
邪鬼し損じたといふことは、右京亮の口から聞いてゐた。それを云つた時の右京亮が口惜しさうだつた樣子が、次第にかつきり記憶を喚んで、まざくと眼前に彷彿してきた。』

『その機硯、ふとしたことで拙者所持いたしてござるが、上州侯御買上げ下さるまいか……』

志津摩の云ふことが徐々奇怪に聞える隼人、狐につまれたやうな顏もちで、左右なく返辭も出來ない。

『率直に申すが、淺々の拙者生活に追はれ居ります』そこで貴殿が上州侯御家來と承はり、ふと思ひついたのでござるが、是非とも御配慮を願はしたい……』

『主人に申し傳へるはいと易いことでござるが……、貴殿がどうして手に入れられたか、先づそれを承はりたい』



『その儀は平に御辭退申す……』

四角張つた物の云ひやう、志津摩は冷やかに云ひ放つ。他人の庇護を受けることが出來ないのが、志津摩の役天的の性格だ。

『いや、強ゐてとは申さぬ……』

大須賀隼人と名乘つた武士、志津摩の態度に怒りもせず、まだ何か云ひたさうだ。

『我殿、松平殿御家中とされたな……』

『流石御推察の通り。思ひ外な縁でござるが、……』突然志津摩が云つた。

『州侯お覺えを得たき品を拙者所持いたして居るが、お執りもち願はれまいか……』

隼人は返辭を與へる代りに、鋭く志津摩の顏を見据えた。貴殿は何か強請らうとでもするのかといふ眼で。

『突然かやうな事を申さば奇怪に思召されやうが、貴殿は遠藤造酒殿が脇坂家から拜領された宗理作の『寒雁の硯』をお聞き及びでござるか』

『えツ。宗理作の『寒雁』……』

隼人は三百五十石の知行で、松平家家臣の一人。右京亮が一位と二位の愛ひで、宗理作の『寒雁』の硯を……

『それは申されぬ』

これで、兩人とも暫く無言だ。月は益々冴えた。

その險な沈默を、隼人が先づ破つた。

『とにかく主人に從へ、何分の御返辭いたしたいが、御姓名、御住所承りたい』

『それも申されぬ』

『何と仰せられる』

『……』

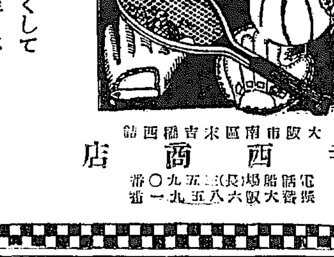
『日と時刻を申合せ、何處ぞでお目にかゝり申さう。この場所が貴殿と不思議な御縁を結んだところ、此處が宜しからう』といふ。

あすの天氣（24）

京畿道は支那北部と北海道とにあり朝鮮は氣壓配置不安定で西朝鮮島附近には小低氣壓がある東岸と南岸は雨、其他も曇つてゐる明日も曇り勝ちである

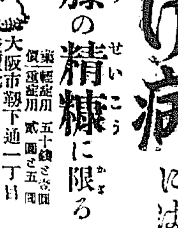
豫報	曇
氣溫	廿三川 上午 二三·九度
	廿二時 二三·七度

仁川滿潮時（九月廿四日）午前十一時五十五分　午後一時一分



りん病痛も數ある中で　眞實キイタと淡敵な評判（五日分金三圓）
りん病ケロリ　五日分無代呈
誠心誠意放病症眞面目に申込む同時に詳細御案内致します
大阪市港區弘町三丁目　誠心製藥社
責任專賣所急募集　全國未設地に就て誠實なる方に專賣權を與ふ

天惠療法　ロマチク　肺
自宅療法の指導書『全快の栞』無代進呈
肺患・肋膜・肺尖カタル・結核性諸病・喘息・氣管支・一般虛弱の人・生命の保養を望む人々は、即刻ハガキで申込あれ合理的療法を公開す。
大阪市西區梅本町六一　岡本良太郎



外科　植村病院　院長醫學博士植村俊二　京城永樂町二丁目　電話本局二七九〇番

平壤みやげ　樂浪文化を象徴せる　登錄商標　樂浪名菓　平壤下江黃金堂　電話三三

キルク製造販賣　高田瓶店　京城本町二丁目七番地　電話本局三〇〇一七番　振替京城六〇一七

特別案內

荷札及封筒　迅速且丁寧ニシテ低廉ハ他ノ追從ヲ許サズ　京城府蓬萊町參ノ目　荷札製造所　電話本局七三七番

恩給　年金手續代理　京城本町　電話本局

貸室　南大門通　電話本局一〇五〇番

刀劍　京城府古市町　刀劍店

恩給　京城府竹添町　電話光化門

染物　京城府大島町　電話龍山

恩給　年金の御相談　京城府

恩給　京城府本町

讓犬　英國セッター　京城府

入用　至急本人來談あれ　京城府

店員　入用　京城府

乳母　至急入用　府內

桐板　五分板、八分板、多數あり

大島　納屋

秩父銘仙　産地の御仙お頒ち致します

京日案內　五號活字十五字詰五行一回　壹圓五拾錢

初秋景物　六
燈火親しむべき秋
市をなす書籍屋の店頭

◇戦場の如く学生諸君と同様、書物の虫干で暑い休暇をとつてゐた図書館、さびれうすらいだその図書館、それも九月に入り新秋の聲をまけば図書館の札は表面に新しくよそほれ各室『燈火親むべき時』を迎むの人々で埋まる……読書シーズン来たる……

◇うず高く積まれた数々の各書物雑誌の類、入り代り、立ち代り時の経過はおかまひなしに、それをひろひ読みする種々雑多の立見のお客、そして頭にかぶれた各本を一々整理する店員、『一冊でも』でくさい客の行動を監視する番頭のするどいまなざし評判の喧ましい折の何んと賑やかな各書店の店頭よ

◇『孫悟空絶録』『未来時代の夢と今』『百の結婚の経済理論より一の我国の歴史的事實――』等……あらゆる文字を使ひ、表装をこらし色彩を応用し、我れ今秋の読書界の王者たらんと新聞に、ビラに、宣傳、宣傳又宣傳……

◇目まぐるしい、この事實の中に本町日韓書房店主がボツリ……夏季は読まれる書物も至極軽い、そして一般の読らない雑誌類が出ましたがそれとても数からみれば極めて僅少です、

◇今秋は従来のそれと全く異つた『経済物』がすばらしい勢ひを示してゐます、読本の中でも『小説物』は婦人が断る多く私の方でも面くらつてゐる有様です、殊に各読人蓄の『小説物』は全然駄目だといつても差支へない位です、全体から見て約五割位は夏季よりも読行が増加してゐます……とニツコリ

◇ふと視線に目を注げば通りあるくセーラーパンツの主の片手に何やらの本……（写真は日韓書屋の店頭）

行樂の秋に
「催物澤山のけふ」
競馬へ、野球へ、運動會へ等々
秋を樂しむ行樂の群

ながい間天候不順に出足をにぶらされてゐた府民達、けふは彼岸のお祭りに日曜日がかさなつて絶好の散策日と前夜来から競馬へ――野球へ――運動會へ――郊外へ――と各々目ざすあすの日を待つてゐたが、今朝となつて見れば曇勝の空でうつ陶しい天氣、いさゝか散策子も失望のていであつたらしく朝の間はさまで人出も見なかつたところ、午後におよんで雲間を洩れる晴れやかな陽ざしに一時に打つて出たおびたゞしい人の群……

◇まづ第一の呼び物は東大門外の競馬、前日の番狂はせが興味をそゝつて、こゝは又朝から萬余の観衆が押しかけ電車、自動車の頻繁なこと。一方運動競技では大和主催の明治神宮予選の硬式庭球が京城運動場と師範学校とにあつて庭球側の人氣を集め、午前九時から城大鐵道の水泳大會が龍山鐵道プールに開かれ、秋水をちらして非常な盛觀を呈してゐたが、午後三時からは龍山ドロンゲーム自動車鐵道を演じた鐵道對殖銀の野球戦が未曽有の人氣を呼びこれ又萬近き観衆がつめかけ終日その妙技に魅了された。昌慶苑は朝の間はお天氣がげんで人足も少かつたがそれでも午後四時までに千五百余名の入苑者があつた、殊に賑つたのは各小学校の運動會、東大門、日の出、三坂、鐘路、櫻井の各校をはじめ、和かしい秋の日の下に無邪氣な子供さんの競技に、父兄方も終日晴れやかな気持ちにさせられた。

◇その外本願寺のバザー、出雲大社祭り、美術俱楽部の煎茶會、各活動常設館でもお休みらしい賑ひを見せてゐた

……壁と共に五階の同工場を粉砕し燃き盡くし作業中の職工一名は大火傷を一名は輕傷を負ひ何れも總督府病院に收容された、原因および損害額目下取調べ中

海賊團に
警察奔弄さる
慘殺少年の葬儀に
花輪を贈る海賊團

【ホノルル廿一日發】海賊團に人質として誘拐惨殺されたギル少年の葬儀は廿一日しめやかに行はれたがその際レエーミソン家に贈られた弔歌のうちK、K、Kと記した名札を附した花輪が發見された如何にも警察の無能を嘲笑したやうな海賊團の行動は探偵小説そのままである、なほさきに召喚を受けたレエーミソン家の自動車運轉手森山親雄は證據不充分で釋放された、一方独等一味の活動は巧妙奇怪を極めギル少年の葬儀に市民を遂るなどの言説を敢てなし市民に不安を與へてゐるが廿一日當地警察に入手せる報告によると又々ケ、チ、ケ、の署名をなした一通の手紙が二十日夜警察に飛込んだしかもその文面にすれば更に二名の少年を誘拐すべしと警告してゐると

二名を誘拐
すると豫告

【ホノルル廿一日發】ギル少年殺害の海賊團の正體に關してはまだ何等手がゝりらしいものが發見……

平壌で火工
場爆破
職工二名負傷

【平壌電話】廿三日午前九時半頃平壌府外船橋里平壌花火工場においての點檢中の花火に引火し大爆……

夫婦不和から自殺未遂

京城府中林洞三〇二番完圭の妻……

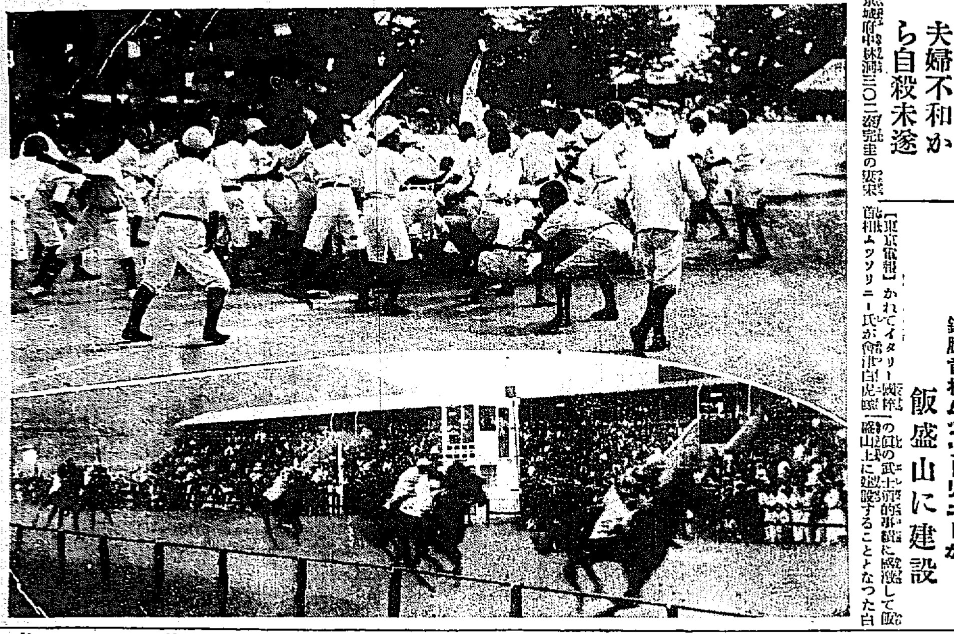
白虎隊の
記念碑近く到着
鐵腕首相ムッソリーニが
飯盛山に建設

【東京電報】かれてイタリー政府（鐵腕首相ムッソリーニ氏が會津白虎隊の武士道的事蹟に感激して飯盛山上に建設することゝなつた白虎隊遺跡記念碑はいよく來たる十月一日ナポリ出帆の加茂丸に積載して日本にむけ發送されることゝなつた右大圓柱は日本郵船の上駐日イタリー大使アロイジ氏より近衞文麿公を會長とする白虎隊碑建設委員の手に引渡されることになつてゐる、円柱の高さは八米、厚さ廿五粍で大理石の前面には『武士道の精神に捧ぐエス、ピーキウアール』とイタリー語がきざまれてある、なほサン、マルチノ伯は記念碑建設に關する一切の事務を帯びすでにローマを出發し来る十月八日頃着滬の豫定である

密漁
捕はる
統營の沖合

富田□□は廿二日午後一時頃、自宅で可性ソーダを嚥下し苦悶中を家人が發見セブランス病院に收容應急治療を施したが生命危篤、原因は夫婦不和

陸府司令船長松木仁五郎（四〇）乗組員七名の底曳發動機船神徳丸および山口縣都濃郡太華村船長高松庄三郎（三〇）外八名乗組の機船底曳網日丸の二隻が無許可にて漁撈するを發見し海上にて約四十分の追跡戦を演じた後何れも逮捕され釜山へ曳航し目下水上署にて取調べ中である、不正漁業取締のため出航した警備船朝風丸は去る二十日朝統營郡閑山島沖合にて密漁中の山口縣保渡船が朝風丸は天候恢復して操漁期に入り不正漁船が出没するので沿岸警戒中である（釜山）



けふの催し

【上】廿三日の秋季運動會には京城府内の各學校では秋の運動會を催し各學校共大變な賑ひをした寫眞は東大門小學校の運動會（下）秋季競馬二日目

絶好の競馬日和
【賑つた二日目】

東大門外の秋季競馬大會第二日は曇りで風もなく絶好の競馬日和であり滿都の人氣を集めたが第四競馬までの記録は左の通り

第一競馬　騎乗速歩（三千二百米）

一着　カツヤマ（瀬川）八分三九秒五分三
二着　ウイン（中島）五馬身
三着　オホサト（竹田）大差
配當四圓四十錢

第二競馬　各抽籤馬別鮮産馬（千八百米）

一着　ハヤナミ（清水）二分一一秒五分三
二着　デトラアーク（瀬川）一馬身
三着　チハヤ（池ノ平）二馬身
配當三圓六十錢

第三競馬　古呼馬（千八百米）

一着　パイ（竹田）二分一〇秒五分一
二着　フリンクステック（平田）二馬身
三着　マキゾノ（中島）一馬身半
配當八圓九十錢

第四競馬　新呼馬（千八百米）

一着　ヌルミ（飯村）二〇千三秒
二着　シンエイ（中島）
三着　ラヂオ（平田）
配當十二圓

二人組強盗
捕はる

二十日午後十一時頃忠清北道清州校洞金鳳應方の北村雑貨店へ二名の強盗が裏戸を蹴破り押入つて一名は表門に張番をなし一名が主人金鳳氏および夫人を麻縄で縛り上げ現金二十余圓を強奪し逃亡した、二人は頬被りをして立去つたが北村氏夫婦は漸く午前五時頃自由の身となり報告が警察へ届出で人相着衣等詳細に聞き取り犯人捜査に着手したが同日午前八時頃光州驛前の八間道路でそれらしきものを認め召喚……

生駒山の入佛供養

來る廿四日京城府外光熙門外生駒山聖天閣寺では四國第二番修行大師の入佛供養を盛大に執行する同日は稚兒十數人が出て、また接待等延命地藏尊御命日等全山賑しく一般參詣人多数の見込なりと

賭博檢擧

京城府竹添町一の廿三金鶴文（三〇）外三名は二十三日午前四時頃被疑方において賭博開帳中を本町署員に發見され悉く捕縛さる、目下取調べ中

岩本商店の
米突檢査
懸賞近く發表

ジール懸賞本舗東京日本醤油岩本商店では先般京城府廳で行はれたメートル檢査で懸賞證紙を受けた人々にもれなく景品を贈呈するとの筈であるが本月下旬抽籤の結果を本紙上に發表すると

人妻を奪つ
た馬賊

【安東縣電話】昨年一月以來……

山崎警部補の
犯罪は何か
當局は嚴秘に附す
噂を生む數々

京城地方法院檢事局では檢事の合議で取調を進めた全南羅州警察署高等係主任山崎榮二警部補の犯罪内容に關しては極秘のこととて窺知するを得ないが取調事件たるは動かぬところらしく、しかしそれも同人が元成南某署に在勤中その部下であつた某が目下京城に來住して居りこれが余りたちのよくない者であるから或はこの部下の甘言と誘惑にからまつて悪事に引込まれたのではないか……と某警察官は語つてゐる

荒廢地一萬四
千町歩
水害の爲め

咸南の水災で流失埋沒の結果收穫皆無に歸し荒廢地と化した耕地は水災地區咸興、洪原、北青、利原、端川、新興、豐山、三水、甲山、九郡で田は總面積二十三萬四千五十五町歩に對する四分九厘の一萬一千四百四十一町歩、畓は總面積二萬四千九百三十五町歩に對する一割七厘の二千六百七十町歩でその内稻熟最も甚だしく田の三割一分五厘、畓の五割八分八厘を失つて居る

あはて者
バスと衝突

京城府林町二九七金相翊（三一）は廿二日午後二時五十分頃鐘路三丁目六三番地先車道を通行中折柄疾走して來た府營バス京第一〇一三號（運轉手尹興山）の鼻先に驚き、片方に避けんとして自らそのバスに衝き當たり頭部その他に全治五週間の重傷を負ひ鐘路三天道醫院に收容さる

……巡査が取押へ本署へ連行取調べた所遂に自狀した（光州）

質屋一杯喰
はさる

沙里院東里の澤といふ質店では昆爵といふ男から偽造の抵當權設定證書をつかんで一千二百圓といふ兒の子をまんまとふんだくられまつさほとなつて警察にかけ込み訴へ出でたがその證書は全然盗據の偽造物であるといふにいたりてはかたつた奴の度胸もえらいがこんな物をつかむもの間抜けさ加減も驚くの外ないとは一般の評判である

奉天満俱來る

奉天満俱樂部は二十四日より左の日程に依り毎日午後四時半より試合をする事に決定した二十四日對京電二十五日對鐵道二十七日對殖銀何に運動場は龍山グラウンド會費三十錢

……咸興の谷間にわたつて暴威を逞ふしてゐた馬賊頭目通天好の部下老五事孫鮮龍（三〇）は本年六月十六日咸鏡北道茂山の知人の家を襲撃六道溝方に侵入家族四百五十五圓を強奪同地方に潜伏中同人妻沈某氏に發見し、八月九日午後四時頃ピストルを以て夫殿元監を脅かして逃げ出し所轄を離れたのでこの暴徒は安東署の手に迫捕された逮捕後通化……一應取調べの上支那官憲に引渡すこととなつた

鐵道局水泳納會

京城帝國大學水泳部並に鐵道局友會水泳部主催のもとに二十三日午前九時より鐵道局プールに於て水泳大會及び水泳納會を盛大に舉行したが一般觀覽多數で盛況であつた

メガホン

庭球界の雄……の主將たる京城高商出身の……孃と婚約なり二十三日（日）午後四時半から仁寺洞教會に於て目出度結婚式を擧げると

水害義捐金
（二十三日正午締切）

金壹百圓　京城　株式會社三中井吳服店
金五拾圓宛　同店員一同、鎭南浦公立商工學校職員生徒一同
金貳拾壹圓　開城公立商業學校生徒一同
金拾六圓　忠清南道公立師範學校生徒一同
金拾圓宛　泳服、無名氏
金五圓宛　忠清北道清州……同金鐘……同……
金三圓宛　同興業商店、同新明醫院、同……中……忠北支局
金貳圓五拾錢　忠清南道……公立普通學校職員兒童一同
金貳圓宛　忠北清州長春紙物商店、同池龍熙、同田命植、同金……理樂
金壹圓宛　同金批澔、同金泰鎬、同南外圭、同朴永憲、同……、同李瑞東、同……、同朴贊玉、同……、同……
▲五拾錢宛　同……、同……
▲金參拾錢　同金……

累計金壹萬貳千四百參拾七圓六拾貳錢也

訂正　九月廿二日付夕刊金五十圓日本製菓株式會社京城支店とあるは日本紙器株式會社京城支店に訂正す

人參湯

▲本府の某……氏……お嬢さんを三人持つて▲男の子がほしい、男の子を滿るまでは何人でも製造する▲と意氣込んでゐるが▲そのお嬢さん三人が、何と間違つたか三つ子と宣傳されて困る、去年七五三のお祝ひをしたんですから今年は八ツと六ツと四ツの三人です、困つた宣傳だなと氣にしてゐる▲三つ子といへば、同じ總督府の枡本さんは二子の經驗があり、二人とも健全で近く大學に入るといひ▲鉄道の稲垣さんは十人の子寶長者▲余り濫造ると餓る〇〇のよふだが事實は至極元氣だぞ、君▲と氣にし奥さんの健康のために▲そうやめるんだろうな

御大典紀念景品附大賣出
高級醤油
キッコーユウ
キッコーユウ醤油
壹樽毎に抽籤券一枚及び
ホーロ洗面器又は　即時御渡致します
防水前掛一枚
壹等　三越發賞　御大典記念　銀盃三ッ重一組宛
五等迄　空籤なし
宮内省御用達
嶋屋釀造所
京城・奉天
御近所の販賣店にてお買上を乞ふ

冬物荷揃
蒲團座蒲團諸綿
夜具地　座布團地　豊富取揃居候
毛布膝掛各種
太陽印絹綿ふとん發賣元
各會社製品、舶來品純毛、綿毛布多種取揃居候
大阪市本町一丁目角　定價發送　西川甚五郎商店卸部
電話本町五五六・五五七・五五八番

金牌受領
本椿香油
髪を黒く長くつやを出す
本舗大阪西區靱中通一　三宅當

產婦人科
小兒科
女醫　遠山醫院
京城北米倉町九三（朝鮮銀行裏通）
電話本局壹六三四番

三倍はかどる
大鳴采印クサカベ式
模範製粉機
赤門の機械屋　日下部商店
本所石原町電車通　東京本所局私書函三號
電話墨田（七四）三三二二番

京城龍山間　一円均一タクシー
京城驛前　平和自動車部
電話本局一八二五番

株式名義書換停止公告
當社定款第拾六條ノ規定ニ依リ來ル拾月壹日ヨリ第貳回定時株主總會終結ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止致候也
昭和參年九月貳拾參日
朝鮮煙草元賣捌株式會社

毎月廿五日謝恩デー
洋食定食　壹圓
和食定食　壹圓
東京壽司　五拾錢
當日は出前、仕出し共一切二割引
光化門ビル内
和洋料理　梅野屋食堂
電光九四四番

瓦電買收と狸の皮算用（中）

買收が成立したら　その金の行方は……

公稱資本六百萬圓、拂込三百七十五萬圓といふ瓦電會社は瓦電鐵道を朝鮮の商業中心地釜山を本據として鎭海、金海より東萊溫泉附近にまで根を張りついこの間は鎭北線まで延長計劃をたて大邱の大興電氣といがみ合つたばかりである、地方として三百七十五萬圓の拂込資本に對して年一割二分の配當をする會社は地方の民間會社としては稀有と將來を有する點において有望株といふ一つにあげて議論のない處である

◇この會社の總營業を買收するに當たつて價格がどの位であるかとは誰でも突きとめたい疑問で電車電燈、ガスの三營業は資本も事業の性質もおのづから異つてくるから總額をいふ事は甚だ出しにくい、その道の玄人にいはせると、資本拂込による算定、會社の資產狀態と營業成績による算定、過去十ケ年の營業成績から將來を算出する豫想、次ぎは事業と環境つまりは土地の將來性狀態からの見方等々ほとんど無限といつてよい位に買收價格の算定方法があつてズブの素人には見當がつかない

◇たゞ常識的にみて動かない見當は六百萬圓の資本で一割二分七十五萬圓の利益配當をして居るから六分の利子で換算すると千四百萬圓の金を動かして居ると同一であるといふ結論になつて瓦電事業はそれだけ有望な營業であるといふことになる。

◇そこで問題は假りに買收價格が千萬圓で折合つた場合には十二萬株の一株當たり八十三圓強で買ふことになる。實なるかな、五十圓拂込の瓦電株が總督府の諮問の際ひとたびおこるや一躍七十五圓に四分の一拂込の新株が二十一圓五十錢に跳あがつてしかも人氣は強氣だと傳へられる。

◇釜山府の買收交渉が成立したあかつきに、この不景氣風が吹きまくる釜山に、瓦電の株を持つて居たといふだけでころがり込む現ナマの掘り主は誰々であるか、頗る興味ある問題を調べあげると頗る興味ふかいものがある（つゞく）

大邱府の市街計畫

第三期に入る

大邱府の市街計畫はすでに第二期をおへ本年度から昭和六年度四ケ年計畫を以て第三期にはいつたが同期は總督府の都合上前期の計畫を變更して京町一丁目から南廣坂校前を一直線に貫く十二間道路の新設とこれと結ぶ總十二間道路の延長並に八重垣町西方から達城公園下不正四又路を通ずる十二間道路およびその延長本町二丁目と交叉する六間道路の新設にとゞめるはずである、就中の南廣坂校東端から公設グラウンドの東端をかすつて達城本通に交叉するまでの間の十二間道路の新設と既設道路の十二間幅取ひろげ工事四十二間は四ケ年計畫を以て着手するはずとなり結局大邱府市街計畫は昭和六年度完了が昭和十年度に延期されたわけである。なほ府尹の語る所によれば尚それからの後でまだ六七年計畫の計劃はあるが當局ではすでに大體決せるものゝ如く即ち十萬圓位を以て十マイル程の舗裝であると語つてゐる（大邱）

實業懇談會提案

二十二日夜釜山商議に開催した評議會では懇談會を開いて提携打合せを行つたが十月中旬金山にて開催される全鮮實業懇談會に提案すべき事項を協議した結果左の通り決定した（釜山）

△釜山港の貨物引下げの件
△浦項以北各港行きの海上保險料率引下げの件
△金融組合對銀行との貸借取扱の件
△取引の改善及び確實を期する爲め右記二項によつて手形觀念の向上を要望す
イ、手形の引受を勵行實施されたき事
ロ、集金郵便を正當の理由なく遲延せざる事
▲東海岸線鐵道敷設に關し釜山よりも起工する事を要望する件

平壤商議評議員會

平壤商業會議所では廿六日午後一時から臨時評議員會を開き左記を附議する（平壤）

決議事項
一、商工獎勵研究所設立方平壤府當局に要望の件

協議事項
一、平壤府稅徵收其他に關する件

報告事項
一、燃料問題に關する件
一、洋襪工業功勞者表彰式經過に關し道內務部長より通牒の件
一、平壤栗見本郵送に關する件
一、鎭南浦荷揚げ費問題に關する件
一、務料會及宮原議員會後援の件
一、咸鏡線全通式參列の爲め咸南へ出張の件

より昭和二年度の決算、同三年度の收支豫算報告および役員改選を附議して原案可決終了後和田會長の紹介にて高橋觀察官『產業組合の一部』と題し民族的見地より國々實例を擧げて長時間熱辯をふるひ更に松崎本社長は「組織の力」と題して文明の進歩は一に組織の力に待つと幾多の事例を述べて滿堂の聽衆に多大の感動を與へ十時過ぎ盛況裡に散會した（大田）

公金不突合事件

議員から鋭く突込む

仁川學評議會

公金二千六百餘圓の不突合事件の爲め一般府民に多大の疑惑を與へた仁川學校費の昭和二年度歳入出決算が提示される仁川學校評議會は事件ばく露以來月餘を經過した二十二日午後二時半から府會議場において開かれた。出席議員は

朱命碁、李裕寬、金相駒、鄭順澤、李文明、李彩鎭、張錫佑、李東碩、李宰求

の九名で今日の評議會では管理者たる寺島府尹の口から事件の眞相が率直に明示され府民多年の疑惑が氷解するであらうとの期待の下にいつにない緊張振りで各議員の顏にもうかゞはれた、やがて議事について寺島府尹は

▲仁川公立普通學校に御大典記念文庫設備の件

を諮り財源としては臨時恩賜金利子八百圓に補助金二百圓、合計一千圓をこれに充當する計畫であると說明し滿場起立の禮に賛意を表し次いで

▲昭和二年度仁川府學校費歳入出決算提示の件

に移り寺島府尹は

本年度決算に於ては收入及使用料の收入成績が惡い外不都合な點は少しもないがたゞこゝに釋明して置きたいことは元年度以前に於ける歳出に於て帳簿の記帳に誤謬があつたため臨時部繰越金に於て二千六百餘圓の差額が生じたことである、而して本決算に計上せる六千八百七十九圓餘の繰越金は現金の實在額で元年度以前に於て五、六百圓の不正行爲があつたかの如くであるが調査完了を待つて報告する

と述べ休憩を宣して懇談に入り、張錫佑氏は「府民は本事件について不安の念に驅られてゐるから一日も早く眞相を明かにせられたい」と希望し金相駒氏より

本事件についてさきに府協議會において質問した時に府尹は學校評議會に於て明かに答へるとのことであつたが府尹の說明はハツキリせぬ、御說明によれば帳簿上には六千八百七十九圓は實在せぬといひ、又行方不明の金は六百圓より無いともいふ、それならば行方の明かな二千餘圓は何故に繰越金に計上せぬか、殊に湖上の繰越金九千五百餘圓は正しい決算であるか

と鋭く突き込まれたが寺島府尹は

それは前任者が處理したことだから自分は解らぬこれ以上は官の秘密に屬する事だから調査終了を待つて秘密會に於て答へる

とてとりあはず、議場の空氣は多分の苦しい質疑をしてゐる、府民をして不正行爲のために不安の念をいだかしめることは議員として苦しい立場にある、又繰越金における二千六百餘圓の實際が明かになつてゐないやうな決算の提示は甚だ遺憾であるとの意見が議場に滿ちたが結局再議の上決算は提示濟みと決定し四時半閉會した

日新會總會

大田日新會總會は廿二日午後七時半から大田商業會議所の樓上で開催

公金橫領犯人捕る

黃海道瓮津郡廳財務係員金裕冥（三）は自己の取扱ひにかゝる公金二千餘圓を橫領しその妹と共に逃亡した事件發覺後沙里院警察に於て捜査を進めてゐたが二十一日午後十一時頃逃げ廻り來たり沙里院驛構外の鐵道線路附近で遂に逮捕した（沙里院）

原州から

◇小宅原州警察署長は十三日附春川署に榮轉の旨發表された同署長は大正十三年十二月原州署長として來原し在任三年十ケ月おそらく原州署長として在勤年數の長かつた點においてレコード破りであると共にその在任中の功績は何人も否認せぬところであらう一面において事務繁劇な警察署長としてその滑脱の性格を八方に振ひ他面原州支廳の檢事として初日の手腕を示して邪惡の徒を畏服せしめた、氏の前任後過渡期を過ぎた制度改正後の警察行政事務も盤石の安きに置かれた感がある。

◇後任は川島城署長で同氏は千葉出身警察部出しに姓陽城署長として頭腦明敏夙に令名あり保材の跡を享けて至極適材を得幸とするところである

◇旱魃大雨の洗禮を受けた新米の出廻り、一斗二圓十錢內米は二圓三十錢依然として米は安値を續けてゐる

◇原州本願寺は大正十三年開設し從來民家に本尊を迎へ婦人會および幼稚園を併置し隣接郡にも多數の信徒を得て好成績なのに鑑み最近總代間に寺刹建立の議まとまり州および隣接各郡信徒から寄附募集中で本年內に新築落成の見込である

◇原州邑內にも最近ラヂオ熱勃興し中田氏を皮切りに青年會在川郵便所一方澤力等までに五六ケ所アンテナ高く中空にそびえて文化の餘惠はあまねくまだく漸々增加の見込である（原州）

仁川の神宮豫選

入賞者は京城豫選に出場

朝鮮神宮陸上競技の仁川豫選は廿二日午後二時から山根町公設運動場において擧行、參加選手は仁川府廳、鐵道、郵便、商業、青年團、官公署等を通じて六十餘名、一般青年の兩部に分れて競技を行ひ午後六時終了した、入賞者左の如し、因に左記入賞者は全部廿三日京城の朝鮮神宮豫選に出場する

一般の部

トラック

▲百米決勝　一着金奉山　一一秒五分の二、二着高元健、三着潤野
▲二百米決勝　一着滿田　二着金順昌、三着金奉山、四着白星
▲四百米決勝　一着李寶善　五五秒五分の一、二着早川、三着林炳
▲八百米決勝　一着李玉善、二著村瀨
▲千五百米決勝　一著瀧昨　四分五十八秒二、二著前田、三著利顯

フキルド

▲走巾跳　一等松下　五米九二、二等藤井、三等藤武、四等金大準、五等松本
▲三段跳　一等一一米三〇、二等松木、三等金大準、四等根留用
▲砲丸投　一等藤　八米八〇二、二等阿南
▲圓盤投　一等藤井、二六米二〇、二等岡岡、三等岡本
▲走高跳　一等金大準、一米五五、二等泥鐵四、三等根潤用四等美濃谷、五等平川
▲棒高跳　一等松下三米、二等松本
▲槍投　一等金顯基、三七米二等山木

青年の部

トラック

▲百米決勝　一着張仁守　一一秒五分四、二着有島、三着山田、四着安鎭基、五着張慶煥、六着金
▲二百米決勝　一著張二才二五秒五分の三、二著山田、三著石長四著、飯成五著崎
▲千五百米決勝　一著季正石　四分四十八秒、二着田東五

フキルド

▲走巾跳　一等、森五米五〇、二等山田
▲砲丸投　一等川手　一〇米八〇、二等、國岡
▲槍投　一等尾下　三七米五〇、二等松田（寫眞は仁川の豫選）【仁川】

大羽鰮の大豐漁

三十萬樽の水揚げ

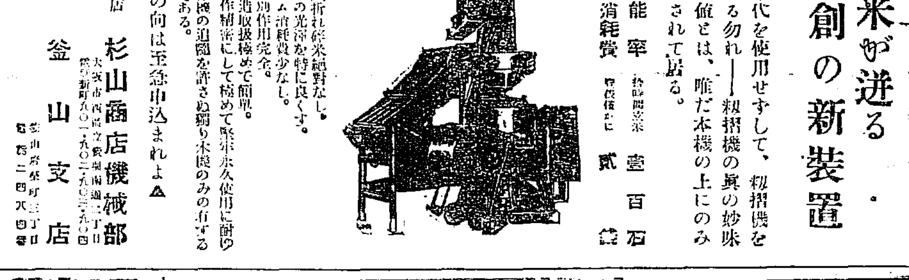
咸南の漁期も峠に入る

いよいよ鰮漁期に入つて咸南沿岸の漁場は素晴らしい大羽鰮の水あげを見せて居る。新浦港に根據を持つ漁船は一市場網十九統、巾着網四十統、總漁獲高六十統をついて見ても市場網は一統一回の漁獲高五千樽、巾着網は一統一回平均五百樽は下らぬ水あげで總額三十萬樽七十萬圓見當と見られその他の北部沿岸でも相當の漁獲を示して居るから昨年の百萬圓は

この豐漁は例年より遲れたが從來この大羽鰮の大部分は經濟な肥料に使用せられてゐるので加工品の價格も二百七八十萬圓に過ぎぬがこの半分を肥料とし半分を干鰮すれば約四百萬圓の價格を生ずるので總督府殖產局水產課の試驗調査の結果北部沿岸から當業者一名づゝを選定し十月二十一日から十一月七日まで靜岡、愛知、兵庫、長崎へ派遣その他各地に派遣すべく目下人選中である（成興）

地方人事

▲宿田相恕氏（釜山實業家）福岡の中の處二十二日渡滿の途
▲藤丁八十八氏（咸南高等課長）福岡に開催の高等警察官會議參列のため二十三日出發
▲湯田山林部長　二十九日忠州より開催店村を經て春陽に一泊十日春陽發江原道へ赴く管
▲近藤平北內務長　忠南警察部長に該職の蔦十九日京公へ二十三日公州發論山、扶餘を經て大田へ
▲兒嶋大同郡長　十日江景へ一泊廿二日江景
▲井上龍氏（朝鮮酒造業組合總務）廿日木浦　一泊廿一日燈城長▲大村京都財務長▲渡邊忠南財務課長▲森道地方課長　廿二日川方面から沙里院、信川西鐵道の基礎地を視察
▲寅ヶ安忠道地方課長　廿四日學送、鐵川、全山の各郡へ事務視察
▲羽田京大教授　廿二日平壤着
▲池田海軍々醫局長中將　廿三日平壤着



小兒科　吉田醫院

醫學博士　吉田得次
診察　自午前九時　至午後二時
京城黃金町一丁目
電話本局四八一番

御土産　御見舞ニモ

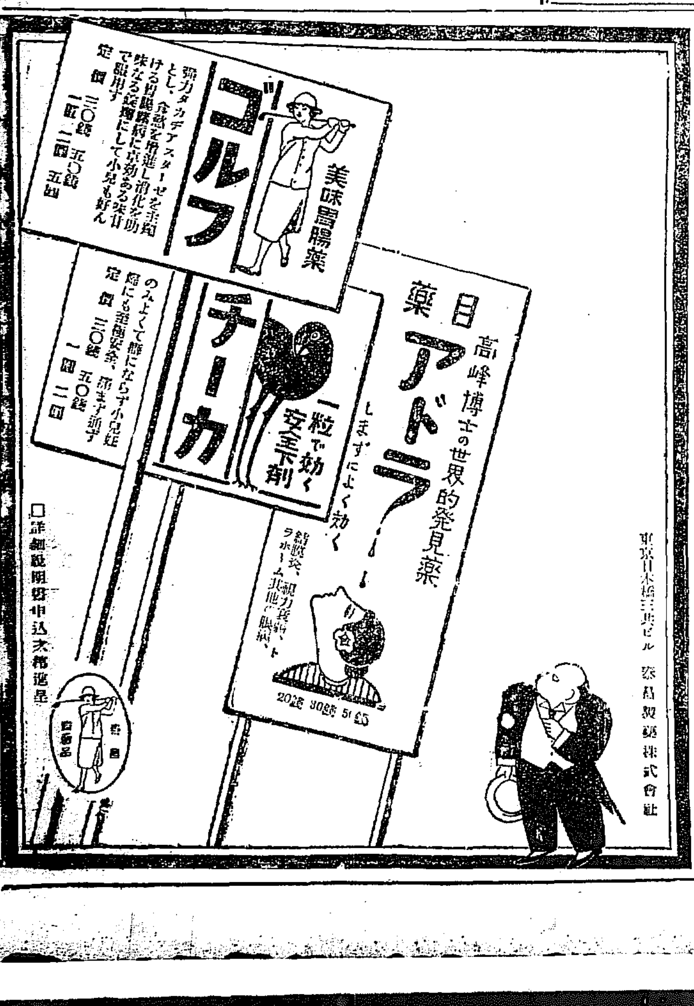
鑛泉應用ノ銘菓　鐵泉山の雪

蜂蜜松の花入
各地菓子食料品店ニテ御求メ下サイ

優新院

京城明治町一丁目
電話本局二四四番

內科　小兒科　醫學博士　古城憲治
入院隨意　普通病及傳染病室



鐵人俠勇實錄 後藤半四郎 （3）

桃川如燕口演　野口紅涯畫

菊花屋の主人は懇意人にいひつけて洗足の水を取寄せ 總『マア どうぞお上り下さいまし。まづお腰の刀をお預かり致しませう』 半四郎が腰に帯してゐた太刀、それを主人物兵衛の手に渡すと 總『これは恐ろしく重いお刀でございますな。新刀は重いとは聞きましたが、こんな重量がございますか』 半『イヤ主人、それは刀ではない、鐵の棒だ』 總『ヘエー、鐵の棒をさしておいでなさいますとは……』 物兵衛は不審顔 半『されば、刀で人をきれば後で研を掛ねばならぬ。それはまことに面倒である、そこで鐵を刀のやうな形にきたへさせた。しかし鐔がないと敵の太刀がすべり込む恐れがあるから、それで鐔もつけてある』 總『なる程、これは大したものでございますな。一つボカリやられたら當つた所は碎けてしまひませう。何しろ大した重量でございます』 半

『五貫八百目あるぞ。しかしさのみ重いとも思はず差してゐる』 總兵衛は眼をまるくして 總『五貫八百目、どうも恐れ入りましたな。先生のおつしやつた通り掛下は大力でございます。腰にこれ程の物をぶら下げてお重くないとは、イヤ恐れ入りました』 すると雲助の太吉が 太『ねえ旦那、先生がもう少し早かつたなら、あの若夫婦も助かつたでございませう、おしいことを致しました』 それを耳にした半四郎 半『何だ、その若夫婦が助かつたとは……』 太『イエなに、先刻此先へまゐりましたご夫婦づれが、こゝで悪い雲助にかゝつて土手へおびき出されたのでございます。旦那のお出になる少し前でございますがね』 半『ウーム、若い夫婦づれが宿家にまゐつて休息したといふか。それが加ノ鳥をさして……ウーム悪い雲助がつれてまゐつたといふか』 太『左様でございます。手前どもへ泊つてしまへばよかつたものを、余ほど急ぐものと見えまして加ノ鳥まで延ばすとかうおつしやいましてね、それに丁度倖んでゐた雲助にすゝめられて出て行きましたが、今時分はさぞひどい目にあつてをりませう』 半『さうか、イヤ親父の迷惑かたく、その者共を助けてやるであらう。この五貫八百目の鐵棒が二つ三つ動けば、五人十人の雲助共は粉なにしてしまふ』 いひながら半四郎は鐵の棒を腰にして門口を出ようとした時、花屋の主人總兵衛は一升樽に酒を持つて來て 總『先生、先生、これを一つ召上がつてお出でなさいまし』 半『ウム、よく心づいた……』と一いきにその酒を呑みほすと、半四郎パッと表に出て疾風の如く驅て行く。それを見送つた雲助の太吉、太『旦那、驚きましたね、あの人は魔物みたいで、もう姿が見えなくなつてしまひました』とあきれてゐる。こちらは半四郎、一散に土手へかゝつて來たが別に怪しい姿も見えない。半『これはいかん、まだ雲助は出ないと見える。折角驅つけて來たが敵にあはねば殘念がくやけるぞ。かうと知つたらば腕猿を持つて來ればよかつた。雲助共に敗いて來たからくわいちうには一文のたくはへもない。さすれば江戸に行くこともなるまい。さて引返すかな』 土手の中央まで來て足をとめた時、アレーッと悲しい聲、つゞいてけたゝましい女の聲 半『おゝ出たな。俺に合ふたか……』聲を知るべに驅つけて來ると、そこには山籠が一挺おいてあり、その前には若い侍が倒れてゐる。大の男が五六人、若い女をとらへて『騒ぐな阿魔つちよ、いくらほざいたところでこの土手へは人の子一ぴきも通らねえ。さアこれから宿場につれて行つて泣い物を着せてやる、コレ騒ぐな』と無理にも籠にかけてかついで行かうとするのを見た半四郎 半『この野郎者めッ』と言より早く駈出した

鐵棒を引抜き『エイッ』と叫んで飛び込んで來たが、ブン／＼うなりを生じて三つ四つ振廻したから堪まらない。これに當つた者は忽ち腕を折られ頭を碎かれ、またゝく間にそれ／＼打ち倒されてしまふ。殘つた二三人の雲助共『ソレ、化け物が出た逃げろッ』とあと一目散、宙を飛んで逃げる。

秋風そよ吹く　新聞見て　頬まんじう召せ　現れ入むし　半かん召せ　木村　寄

時計ハ村木　時間モ村木　本局四七一番へ

白生地と繪みのや

京城明治町二丁目　佐々木胃腸病院　入院隨意　電本三八七三・一七一六

JODK プログラム

九月二十四日（月曜日）
- 午前一〇、〇〇　氣象概況、各地天氣概況
- 同一〇、三〇　料理獻立及日用品値段
- 午後〇、三〇　家庭講座、塗料智識の普及と國家經濟　日本ペイント會社技師 工學士 田坂晉二郎
- 同三、四五　ニュース
- 午後六、三〇　初等英語講座　笠谷保太郎
- 同七、〇〇　童話『愛犬ジャックの死』　池田利也
- 浪花節『大石妻子別れ』　春亭築郎
- 和洋三曲合奏　長唄（一）越後獅子（二）小鍛冶　ヴァイオリン 石村松雨　寺井福田　尺八 許斐新次郎　三味線
- 同八、四〇　ニュース
- 歌詞と西洋雅樂　朝鮮音律
- 九、五〇　時報、氣象概況、翌日プログラム發表

新らしい出版物

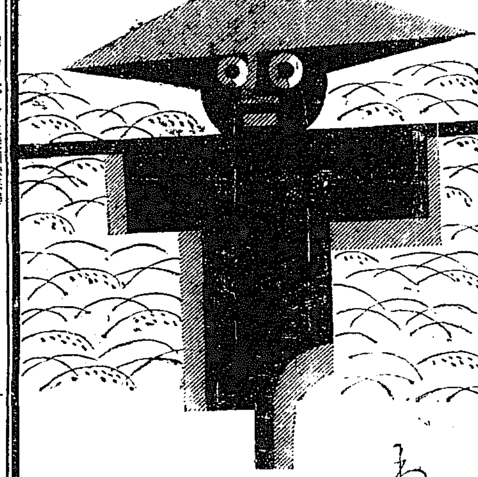
▼蠶絲（九月）長野縣上田市海野町 蠶絲製造株式會社 三十錢 ▼勞働時報（八月）社會局勞働部 非賣品 ▼グッド、グッヅ（四號）東京市小石川區音羽町二の一九扶桑閣 出版部 二十錢 ▼我等の化學（創刊）中瀬古六郎博士主幹、人間味のある化學雜誌を作ると云ふのが主眼、說苑、雜錄、雜報に化學及び化學者に關するあらゆる記事記錄に力を注いでゐる。（京都市寺町四條下ル 西六カニヤ書店内 共社 三十五錢） ▼時之家（九月）川崎市砂子一ノ二六 時之家編輯部 二十錢 ▼三味（四三號）同東望楼楼氏の俳誌（東京市牛込區加賀町一ノ九 三味發行所 五十錢）

けふの新刊（二十日）

【雜誌】【圖書雜誌】邦文の部▲港明（第九號）開教社▲湖南雜誌（九月號）共益▲川柳鶴錄江（第八號）國民新聞社▲朝鮮內報（第九七四號）帝國興信京城支部▲朝鮮思想（第二二一四號）商業興信京城支所▲釜山內報（第九九號）大日本興信釜山支所▲仁川商報（第一四五號）仁友會▲株式商報（第一二二六號）京取市場仲買人組合▲群山商報（第二六號）共社▲群山組合通信（第二八六號）同第二八七號同▲滿鮮之商界（第九〇號）共社▲朝鮮物時報（第九月號）共社▲鮮文の部▲平南相林聯合會▲南洞生活（第五號）共社▲幼年中報（第九號）▲新報（第五號）科學月報社▲科學世界（第五號）科學協會▲特別時歌集 太醫醫科▲現代思想各論 大成書林▲青年本 大華書館

演藝案内

東亞俱樂部　キネマ界の一大明星　大映畫　東京新居 秋季特別大興行
阪東俠客陣
大前田英五郎
明暗道中師
石村松雨
浪花館
喜樂館
棘の樂園
惡人平馬
大正館
蔚山沖の海戰
毒龍
白龍躍る
京龍館
偶像男と兄貴
倫敦の丑滿時
中央館



醫學博士 高木兼次郎氏
醫學博士 小玉圓藏氏
醫學博士 松岡與之助氏
推奬

わが日の本に自慢が御座る　米のなる木と目ぐすり大學

大學目藥

『大學目藥』は、三醫學博士が揃つて推奬せらるゝキヽメ第一の目藥であります

一瓶毎に、『大學洗眼藥』といふ進歩した洗眼藥が添へてありますから、之で氣持よく目を洗つてから目藥を點せば、一層治療が行届いて早く治ります

一瓶毎に 大學洗眼藥添付

價　二十錢、三十錢、五十錢、一圓（何れも大學洗眼藥が添へてあります）
小兒用＝二十錢（別に大學洗眼藥だけ御入用ならば二十一錠入金二十錢であります）

十歳以下の小兒の爲に、特製の小兒用大學目藥あり、小兒用目藥として最も古き信用を有す。

大阪北濱 參天堂株式會社　144

恐るべき蛔蟲の驅除に マクニン

錠劑　ゼリ

十錠入 〇・四〇
五十錠入 一・八〇
三百錠入 九・五〇
一千錠入 二八・〇〇

十個入 〇・二〇
二十七個入 〇・五〇
五十六個入 一・〇〇
百二十個入 二・〇〇

大阪市東區道修町二丁目 藤澤友吉商店
支店 東京市日本橋區本町
支店 京城府西小門町四二

M—15

京城電機學校　豫科、本科 生徒細續募集　小學校卒業無試驗入學　京城府古市町 電話本局二三三二番

太陽堂の化粧品

內科 胃腸科 腦神經病　京城本町四丁目百五十五番地（電話本局二二七四番）　北島醫院

皮黴科　淋疾 黴毒 生殖器障害　京城明治町二丁目（浪花館東）　塩井医院　電本三〇九〇

クラブ白粉

高雅なクラブ白粉のお化粧美は現代婦人の詩であり華であります

この白粉ならば高尚で美しい現代的なお化粧が思ひのまゝに出來上ります

一番良い白粉下は　クラブのつぼみ

水白粉・煉白粉
粉白粉・固煉白粉

カテイ石鹸本店謹製

朝鮮郵船 定期出帆

○金剛山探勝航路開始　咸北丸就航
元山發 毎日午前九時　長箭發 毎日午後二時半　長箭發 毎日午後三時半　元山着 毎日午後九時

（博多行）常昭丸 十月三日 西鮮各港經由博多行 新義州發
釜山丸 九月二十五日 北鮮各港經由博多行 雄基發

○仁川出帆（代理店內國通運支店）
東京行 天安丸 九月二十九日
大阪行 漢江丸 九月二十七日
長崎・三角・鹿兒島行 羅南丸 十月四日
木浦行 呂原丸 十月一日
濟州行 巨濟丸 九月二十四日午前九時半
鎭南浦行 慶德丸 十月二日
大連・營口行 咸鏡丸 十月二日
釜山・上海行 平安丸 十月五日
鎭南浦・大連行 南安丸 九月二十八日

○木浦出帆（代理店山野回漕店）
東京行 天安丸 十月一日
大阪行 漢江丸 九月二十九日
濟州島行 統營丸 九月二十六日
多島海行 統營丸 九月二十六日
仁川行 昌原丸 九月二十六日
釜山・上海行 平安丸 九月二十八日

○釜山出帆（取扱店大池回漕部）
東京行 天安丸 十月三日
東京・北鮮行 長白山丸 十月一五日
大阪・西鮮行 慶州丸 九月二十四日
大阪・北鮮行 春川丸 十月四日
長崎・三角・鹿兒島行 羅南丸 十月七日
大阪・（釜山）行 咸鏡丸 九月二十九日
北鮮行 櫻島丸 九月二十五日
浦項行 淸津丸 九月二十四日
上海行 平安丸 十月一日
宇品大阪行 忠淸丸 九月二十四日
江原道行 慶城丸 九月二十六日
濟州島行 咸州丸 十月二日
高元山行 立神丸 九月二十八日

○元山出帆（代理店內國通運支店）
東京行 長白山丸 十月一日
大阪行 釜山丸 九月二十八日
大阪行 春川丸 十月一日
沿岸行 新濟州丸 九月二十五日
江原道行 白頭山丸 九月二十六日
舞鶴・敦賀・清津行 光濟丸 九月二十五日

雄基行 櫻島丸 九月二十八日
清津行 淸津丸 九月二十六日
宇品大阪行 立神丸 十月七日
清津直行 立神丸 九月三〇日

▲右之外各地共臨時臨時船ヲ配船致シ御便ノ潤澤ヲ取計ヒ居候

●日本海航路出帆
敦賀行 伏見丸 九月二十四日
舞鶴行 春川丸 九月二十七日
伏木行 安東丸 九月二十九日

●釜山出帆（朝鮮汽船出帆廣告）（取扱店釜山回漕店）
麗水行 各港寄港 毎日前十一時
木浦行 各港寄港 毎日後一時
馬山行 各港寄港 毎日後一時
統營行 各港寄港 隔日前九時
浦項行 各港寄港 毎日後十一時
方魚津行（扱店吉田回漕店）隔日後十時

京城南大門通り 朝鮮郵船株式會社
電話 本局 四〇一九五番 四〇一九六番
大和町 四〇一七番 四〇一八番
龍山 電長 三二四番 三五一八番
支店 仁川出張所 海岸通
京城代理店 電本 二七一〇番

仁川汽船 各沿岸出帆

●海州行 江甑、甲串、瀬田 隔日出帆
●延安行 草芝、甲串、鐵山、仁王里 隔日出帆
●仙掌行 漢津、宮里、浦項 隔日出帆
●瓮島行 毎月十日、二十日 鎭南浦經由
●唐津行 毎日正午直行
●石浦行（江華島）仁島、仙水、陰島、永宗島 隔日出帆
●馬山行（水原郡）大阜 隔日出帆

各沿岸行 旅客貨物取扱 仁川府港町（電話六一・一四〇・五八番）

仁川汽船株式會社
海岸町事務所（電話六一一・一四〇・五八番）